



2018～2019 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

湘南・沖縄部 部報

国際会長主題 「私たちは変えられる」
 アジア会長主題 「Action！」
 東日本区理事主題 「為せば成る」
 湘南・沖縄部長主題 「心を元気に絆を深めあえるワイズをめざそう！」



2018年12月
 (第1号)

「そして4か月」

湘南・沖縄部 部長 佐藤 節子(厚木)



2018年7月1日より部長を拝命して「心を元気に絆を深めあえるワイズをめざそう！」を主題に活動はじめて早や、4か月。皆様方のお支えにより、今ここに、

部報第1号が発行できました。

★クラブ部長公式訪問。横浜とつかクラブ(7月7日)鎌倉クラブ(10日)、横浜クラブ(12日)、金沢八景クラブ(16日)、厚木クラブ(25日)横浜つづきクラブ(27日)6クラブに伺わせていただきました。訪問の主たる目的は、クラブの特色・地域性・クラブ運営など相互信頼関係が密になる「きっかけづくり」の場であります。絆が深まりあえる貴重な体験をさせていただきました。あらためてこの場にて、御礼申し上げます。

★部大会9月15日(土)14時～レンブラントホテル厚木で開催。

総合司会 部書記堀田哲郎氏

第一部、司会 鎌倉クラブ担当主事三上淳氏

開会礼拝 讃美歌「主われを愛す」で始まりまして、部大会が滞りなく終了いたしました。

第二部 記念講演では佐治晴夫(理学博士・理論物理学者・美宙天文台台長)をお迎えして「宇宙に学ぶ人生の歩き方」～宇宙研究最前線から人間存在の意味を考える～のお話を戴きました。心洗われる言葉を紹介します。(抜粋)

◆人間カレンダーと私たち 0歳～3歳までの期間に、人類進化数百万年の「時」を駆け抜ける最新宇宙研究から見えてくる“せかい”の根源的姿。

◆宇宙の基本構造は部分の中に全体が反映され、またその逆でもあるという**数学的性質**であり、人間も宇宙の“ひとかけら”である。

◆すべては関わりあい、相互存在、相互浸透して

いる。過去、未来は存在せず、存在するのは(過ぎ去ることのない)現在という一瞬のみである。

◆豊かな未来をめざして

・これから(未来)がこれまで(過去)を決める。(時間の不思議と向き合う)

・ありがとう、お陰様、お互い様、ごめんなさい。

・長生きのコツは、一日を生き切ること

★新クラブ設立に向けて辻剛エクステンション委員長のもと委員会が7月14日発進しました。久保勝昭氏を中心に鶴見地区(生麦地区含む)YMCAにて新クラブが誕生しそうです。横浜YMCAと部は車の両輪であります。部あげての応援を惜しみません。どうぞ、関係各位皆様、より一層のご協力。ご支援お願い申し上げます。

★「AIDS文化フォーラム in 横浜」8月3～5日かながわ県民センターにて盛大に開催されました。

★2019～2020年度、部運営検討委員会を立上げ、金子功委員長のもと9月15日に開催されました。

★第21回横浜YMCAインターナショナルチャリティランが10月20日M21地区臨港パーク内特設コースで109チームが参加して開催されました。タスキに託してつなぐ1チーム5名(内女性1名)構成。車いすの選手、ゼロ歳児5組3歳児チーム、趣向を凝らした衣装で走るチーム、ただひたすらにゴールめざし走り抜ける選手たち等に大きな声援が鳴り響きました。今年はパフォーマンスランコースが増え華が添えられました。

★「フレッシュセミナー」が11月11日に横浜中央YMCA会場、10時～15時に開催されました。

ワイズに入会しておおむね5年以内の方を対象に、アイスブレーキング、遊びの心理学(自分を知る三つの自我)、コミュニケーションゲーム、体験談含むざっくばらんコーナーを交えて、ワイズってなに、ワイズの歴史、東日本区定款等を学習します。伝統ある古くて新しい課題にもトライします。

★ 今や人生 100 歳

“かきくけこ人生”をご一緒に考えてみませんか。
【か】感動・感謝、【き】協働【く】苦勞（頑張り抜く意）【け】健康。 元気で長生き！今を大切に笑って、考えて、楽しく生きて行きたいものです。

予告 お知らせ

★横浜 YMCA と部の合同新年会

2019 年 1 月 12 日中華街「広東飯店」18 時～

★沖縄那覇クラブ・沖縄クラブへの部長公式訪問。
2019 年 2 月 16 日～17 日皆様のご参加お待ちしております。

いつも横浜 YMCA をお支えいただきありがとうございます

横浜YMCA総主事
田口 努

ワイズの皆様の日頃からの横浜YMCAへのご支援に、心から感謝しますとともに、湘南・沖縄部の益々の発展を祈ります。



おかげさまで、横浜YMCAも次年度に135周年を迎えようとしています。これもひとえに、湘南・沖縄部、及

び会員、地域の皆様の、お支えによると思っております。

YMCAでは、ブランディングプロジェクトを進めていますが、新しいブランドコンセプトのブランドバリューは、「みつかる、つながる、よくなっていく」として「したい何かが見つかり、誰かとながかり、私よくなる、かけがいのない場所」としました。これは、ワイズの活動そのものにも該当することかと思っております。自分の賜物を見つけ、その賜物を生かす仲間とのつながりと奉仕活動の中で、賜物を磨きあい、互いによりよくなっていく場がYMCAであり、ワイズメンズクラブではないかと思えます。また、ブランドパーソナリティーは、「心ひらき、わかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ」YMCAの会員、リーダー、スタッフが期待されています。これは、ワイズメンも同じではないかと思えます。ワイズメン同士が、まさしく心を開き、分かち合う関係であり、常に前向きに奉仕活動を継続していると思えます。まわり惹きつける魅力という字を見ると「惹きつける」は、「若い心」と書きます。これは、物理的な年齢ではなく、年を重ねても若い心を持っている人が、すなわち、まわりを惹き

つける魅力を持つ人ということではないでしょうか、ワイズメンの高齢化が話題になりますが、物理的な年齢より、いつまでも若い心を持ち、まわり惹きつける魅力あるワイズメンは、大勢おられると思います。そのワイズメンに触れたリーダーやスタッフは、多くの励ましを受けています。

今年度の佐藤節子部長、そのものが「心ひらき、わかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ」部長であり、常に前向きで、より良いワイズの奉仕活動を明るく推進しようとする姿は、ブランディングビジョンの「互いを認め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る」方であると思っております。YMCAの新ブランドを体現するワイズの皆様の益々の活躍とともに、新たな会員増、新たなクラブの誕生に向けた活動が実を結びますよう祈っております。佐藤節子部長年度もどうぞよろしくお願いいたします。

「部報第1号発刊に寄せて」

東日本区理事
宮内 友弥
(東京武蔵野多摩)



湘南・沖縄部 2018-2019 年度部報第 1 号が発刊の運びとなったことを心よりお慶び申し上げ、編集に携わられた皆様に感謝申し上げます。

「心を元気に絆を深めあえるワイズをめざそう！」を掲げられた佐藤

部長の元、湘南・沖縄部躍進の 1 年と成ることを大いに期待しています。

私は、『為せば、成る』 “ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたがワイズに対して何ができるかを考えて実行しよう”をテーマに掲げています。

ワイズ運動はトップダウンでは動かない—各部、各クラブの活動が主体であることは言うまでもありません。

「リーダーがメンバーを動かすのではなく、メンバーが自ら動く組織に。」ビジョンを示したうえで、コミュニケーションや信頼関係の構築を重視し、メンバーを支援して、目標達成に導く、奉仕型のリーダー（サーバントリーダーシップの実践）を目指し、目標達成に向かって走ります。

ご存知のように東日本区は会員数の減少、財政の逼迫等厳しい状況下であり、特に会員数の減少に対する対策取組は、東日本区にとって喫緊の最

重要課題です。

その中で湘南・沖縄部では鶴見地区新クラブ設立を目指しておられるとの報に接し嬉しく思っておりますが、引き続き部をあげて会員増強に注力いただきますようお願いいたします。皆様と力を合わせて今までの慣例ややり方に捉われず時代のニーズに即した新しいワイズの在り方、活動方法に取り組んで行かなければなりません。その為にも迅速な報・連・相（報告・連絡・相談）を励行して、将来のワイズの発展に向けて湘南・沖縄部の皆様にもお力をいただきたく宜しくお願いいたします。

事業の協力者を求めています！

地域奉仕・YMCA サービス事業主任
大久保知宏（宇都宮）

本年度、地域奉仕・YMCA サービス事業は、主任主題を「地域のために、Yのために」として事業を行っています。

部主査のご協力のもと、それぞれのクラブの地域奉仕・YMCA サービス事業の棚卸をしていただいています。

湘南・沖縄部においても、各クラブがどのような事業を計画しているのかの把握をすすめていただければと思います。

従来の地域奉仕事業では、結果の報告のとりまとめでしたが、本年度の事業のポイントは、計画段階で情報をいただいて、その事業の協力者をクラブ、部の枠を超えて求めていくことにあると考えています。

協力を求めたいクラブ事業を CSY ニュースとしてまとめて、東日本区から発信していきます。

10月5日時点で第27号となっています。当部においても、横浜つづきの You&I コンサート、横浜、厚木両クラブの日本語スピーチコンテストのご案内をしています。

他のクラブにおいてもご活用をご検討ください。事業の協力者を求めています！

5人からのクラブ創り

東日本区会員増強事業主任
伊丹一之（東京むかで）

今期7月1日現在の半年報を集計した「東日本区現勢」一覧表を見ますと、湘南・沖縄部の人数



は102人。前年度前期は115人でしたので、1年間で13人の減少、率にして11%の減少となりました。また、平均年齢は65.7歳で、これは東日本区全体の平均値に近い数字です。

ところで昨年度、国際憲法のガイドラインで、「新クラブの最少会員数は5名とする。」ことが決まりました。それを受けて、東日本区でも新クラブ設立は15人以上であったものを、今後は5人以上で新クラブを作ることが出来るようになります。

ただ今、東日本区 EMC 事業委員会では、ワイズ100周年の2022年をターゲットに、クラブ増強・会員増強のための「新キャンペーン」を企画し、11月10日に行われる第2回東日本区役員会に提案する予定です。その中には、5人で作る新クラブも、新企画として取り上げることにしています。

湘南・沖縄部では、エクステンション委員会が横浜の鶴見地域に新クラブを設立しようと、動き出しています。これを機に、部内の全員で会員増強の意識を高め、会員減少に歯止めをかけていただきたいと思います。

活動を通してワイズを外へアピール

国際・交流事業主任 小原史奈子
（東京たんぽぽ）

国際・交流事業には、BF、EF、TOF、IBC、DBC、RBM、YESなどのアルファベットが並びますが、これらのワイズ用語をハンドブック&ロースターなどを見て理



解して頂くと共に、各種献金をしながら国際での事業に関心を持って頂きたいと思います。

献金がどのように活用されているかは、東日本区HPよりYMIワールドのページをご参照ください。また国際及び国内での交流、各種献金のご協力や、BF使用済み切手の収集と整理のお願いをしていますが、これらをクラブの外にもアピールして、ご家族やご友人とのコミュニケーションツールにご活用ください。

RBM（ロールバックマラリア）ではマラリア撲滅の為に一人当たり薬剤付蚊帳一張り800円

の献金と共に、マラリアを知ってください。

日本ではマラリアが撲滅されたとはいえ、2017年11月WHOの報告では、91の国と地域で2億1,600万人が感染し、前年より500万人増加。年間44万5千人が死亡とのことです。

ワイズのRBMキャンペーンは2020年まで再延長され、薬剤付蚊帳の配布と村々を周って蚊帳の使い方指導や衛生教育の為に献金は活用されます。引続きRBMへ一人でも多くの献金をお願い致します。

垣根を超えて—ユース事業の改革—

ユース事業主任
山本剛史郎(川越)



2018-2019年度ユース事業主任を務めていますが、正直言って「暗中模索」でやっています。これはどの理事をはじめとする役員、事業主任に言えると思いま

す。よほどワイズ歴が長く、何度も事業主任を務めてきた者でない限り、皆さん一所懸命に暗中模索で行っていると思います。「垣根を超えて～Beyond barriers～」という事業主任主題を掲げて、これまでユース事業主任をスタートしましたが、そのバリアー (barriers) は垣根どころか山のようにあり、登山の1合目に着いたところです。おそらく今年度中には超えられない山 (垣根・バリアー) かもしれません。しかし、その登山道ははっきりしていますし、山頂も見えてきました。

2018年9月7日(金)～9日(日)、東京YMCA山中湖センターで第31回ユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)が行われました。リーダー32名、カウンセラー6名、スタッフ4名の計42名が参加し、さらにはワイズメン32名も協力してくださいました。本当に感謝です。これからもユース事業に対してご理解、ご協力をお願いいたしますので、よろしく願いいたします。

2018～2019ワイズメネット委員会 (前期)

メネット委員長 井上 優子 (もりおか)

2018年7月7日(土) 第一回委員会開催11名の委員委嘱状を理事よりいただく。

各役割を確認の上、「ワイズメネットのつどい」



について協議。国内プロジェクト「YMCA関係施設への絵本贈呈」「東日本震災支援」国際プロジェクト「アルバニアの首都ティラナでの働く若者への支援」

上記目的を達成するためにメネット献金を呼びかけることを確認。(2019年2月まで献金をお願いする。) 振込み用紙をクラブ会長に直接渡すように準備する。

2018年10月6日(土) ワイズメネットのつどい 於: 福島県郡山市ふくしまHOPEプロジェクト代表 木田 恵嗣氏の講演&プチ旅行「猪苗代湖」41名

アジア太平洋地域大会(2019、7/19～21)での平和七夕折鶴製作に協力をお願いする

☆昨年東日本支援金として献金いただいた108,000は35,000を仙台で活動する「STORIA」に、78,000を「ふくしまHOPEプロジェクト」にそれぞれ献金をいたしました。

部書記の経験

湘南・沖縄部書記

堀田哲郎(厚木)



初めて部書記を務めていますが、楽しく作業をさせていただきます。しかし、部の運営は部長に依存するところが多く書記は指示に従って動くことが基本です。

2月3、4日に東山荘で行われた研修会でも部書記の仕事は「部長の指示で動く」ということでした。これは、部長によって方針などが違うのでフレキシブルに特性に合わせてということだと理解しました。

4か月ほどが経過して、そろそろペースがつかめてきた頃かなと思います。これからも役員各位に無理なお願いをしますが、嫌がらずにご対応をお願いいたします。

<部会計で思うこと>

湘南・沖縄部会計

伊藤 誠彦(横浜)



部の活動に伴う金銭の異動状況を、会計報告として、分かり易く正確に記録する

ことの重要性は論をまたない。しかし、それだけで十分だろうか？

本来、各クラブの上位組織としての部に期待されている役割を果たすために、必要な資金は確保されているか、逆に、部の財政状況から判断して、部として優先的に果たすべき役割は何か、などの判断に資する情報を提供するものでなければならない。

そのため、会計記録は単年度ではなく、5年、10年単位での比較・分析に耐えうる、標準化された形式と公式記録としての保存・蓄積が必要とされる。

しかし、ワイズの場合、あまり小難しいことを言うと会計の引受手がなくなるのも事実である。

たかが部の会計、されど・・・である。

地域奉仕サービス事業主査として思うこと

地域奉仕・YMCA サービス事業主査

山田一男(金沢八景)



本年の活動3ヶ月を過ぎたのですが私としては金沢八景ワイズとしての動きが中心となっています。八景はそれなりの活動しておりますが、エクステンション委員として辻委員長のもと会合をしていますなかなかうまくいかないもどかし

さを感じています

日本人はボランティア的な活動は昔より奉仕としての考えからかなり参加する人々がいます。

ロータリークラブライオンズクラブとワイズメンズの浸透はなかなか進まない現実があります。宗教的な面もあるかと思われませんがこのような環境下で活動をして行かなくてはと思っています。

『交わりの豊かさと喜びを求めて』

会員増強事業主査

古賀健一郎(横浜)



先日、東日本区 EMC 事業委員会に宮内理事を含め総勢20名の委員が出席しました。会員の高齢化が進み、会員数の減少化傾向が顕著な状況下、『こ

のままでは、将来の東日本区の活動は破綻してしまう』との危機感を委員全員が共有しています。

『ワイズの原点、ワイズの在り方』について、今こそ会員同士で話し合い真剣に考える時です。

ワイズはYMCAの活動への支援を第一目的としています。人として生きる上で大切な価値観が失われつつある今、YMCAは多様な個性や生き方を認めながら、子ども・家族・地域社会を育み、共に支えあう社会作りを目指し、さまざまな活動・事業を行っています。

そして多くのボランティアが求められ、その活動は、年齢や性別、国籍や民族、能力の違いや宗教にかかわらず、すべての人に開かれています。

私は、ワイズの方々のひとりびとりのノウハウ、経験、社会的な知見の総合力をもって、皆様と一緒に、未来ある子どもたちの為に『平和な世界』の実現に貢献していきたいです。そこにワイズの交わりの豊かさと喜びが広がっていくと思います。

「小さな積み重ねを大切に！」皆様のご協力により実現！

国際・交流主査 今城宏子(横浜つづき)



本年度の小原史奈子東日本区国際・交流事業主任の主題は「小さな気づきを積み重ね、関心をもって行動へ」となっています。

国際・交流事業にはBF、EF、TOF、RBM、YES等の献金、IBC、DBCの促進等が

あります。

ロースター67頁「ワイズ用語」をご参照の上、積極的にご協力頂きますようお願い申し上げます。特にRBM(マラリア撲滅運動)は2020年まで延期され、引き続き他団体とも協力イベント開催等を行っていきますので関心を持ってご支援頂きたいと願っています。

又、BFの使用済み切手の収集は指定のサイズで整理頂きたく、まさしく小さな積み重ねが「無から有を生む」こととなりますのでコツコツと続けて頂きますようお願い申し上げます。

湘南・沖縄部におきましては、現在IBC/DBCの締結予定が出ておりませんが、是非、次年度仙台にて開催されるアジア太平洋地域大会を目指し動きが活発化されますよう祈っております。

主任主題に少しでも近づいていけますよう皆様のご協力を、どうぞよろしくようお願い申し上げます。



**ユース事業に思う
ユース事業主査
若木一美(横浜とつか)**

東日本区理事に高田和彦さんが就任していた2007年1月に国際協会公認第1号の「ワイズ

ユースクラブ横浜-Y3が誕生しました。

以来10年、要を担う会員の諸事情により活動は縮小している。

各年開催されたユース関連事業を見ると「ワイズメンズクラブ」が関係する研修会や募集、YMCAが関係して開催される研修会や事業、自主的に開催する各種催事に大別され、蜜に開催されていることが伺える。

それぞれに目的があり、対象者も様々ですが参加する当事者の希望が叶えられているのか総合的に評価する必要があると思う。

「この指とまれ」方式で活動する10~30代の行動に総合型集団活動をしてきた「ワイズメンズクラブ」の目指すユース事業が即応をしているのか自問している。湘南・沖繩部は多くのユースリーダーが存在している。日常的に接している職員さんからも聞き取りをしたい。

湘南・沖繩部エクステンション委員会活動報告

**エクステンション委員会
委員長 辻 剛(横浜つづき)**



(1)2017年9月5日、湘南・沖繩部は初めて常置委員会としてエクステンション委員会(以下「E委員会」)を設置しました。栗本治郎理事(当時)の方針を受けて金子部長(当時)が佐藤節子委員長を任命

し、部内に新しいクラブの設立を目的として委員10名でスタートしました。

(2)2017-18年度は計7回の委員会を開催し、活動内容は基本方針の作成(「覚書」)、活動計画の立案および委員会規則の作成などが主なものです。第2回委員会には横浜YMCAの田口務総主事にもご出席いただき、「横浜YMCAと協働して傘下のランチ、保育園がある地域に新クラブを設立する」という基本構想にご理解とご協力を得ました。具体的には横浜

ACT、藤沢YMCAの運営委員会を訪問し、ワイズメンクラブのアピールなどを実施いたしました。

(3)2018-19年度は、佐藤委員長の湘南・沖繩部部長就任に伴い不肖辻剛が委員長を仰せつかりました。第1回委員会で今年度の活動方針をはじめとして、委員の拡充、沖繩での新クラブ設立の可能性、等々の検討を行いました。

(4) 具体的活動計画は以下の通りです。

①横浜ACTの平野絹絵館長ほか皆さまを部内のクラブ例会(現在横浜クラブ訪問で調整中)を経験していただく努力をする、藤沢YMCA地域に対しては様々なチャンネルを通して引き続き新クラブ設立の可能性を追求する、等々です。

②鶴見中央YMCA/鶴見中央地域ケアプラザ(以下「鶴見中央」)、生麦ケアプラザ(以下「生麦」)、YMCA つるみ保育園、YMCA ライフサポートセンターおよび地元など、をサポートすることを目的に鶴見地域に新クラブ設立の可能性を検討する。

③横浜YMCA傘下の「保護者会」のある保育園などを中心に、保護者および保護者の知人友人などを入会候補者として視野に入れて新クラブ設立の可能性を検討する。

(5) 現在の状況としては、鶴見地域にかなりの進展がありました。9月19日開催の久保勝昭ワイズ(つづき)の歌声広場(生麦)の参加者を中心に6名の候補者があり、当委員会のメンバーと久保ワイズが面談し前向きな感触を得ました(仮準備委員会)。

これらの状況を受けて第2回委員会(10/1)を開催し、「つるみワイズメンズクラブ(仮称)(以下「つるみクラブ」)設立準備委員会の立ち上げ」および「新クラブ設立のための活動は、湘南・沖繩部を挙げて取り組んでいることから、特定のスポンサークラブは作らず、部がスポンサーになり、全面的な支援、協力、フォローをしていくこと」を決定した。(11/17開催の第2回部評議会でも承認を得た。)

(6)11/1(木)、鶴見中央を訪問し、「つるみクラブ」がケアプラザを利用させていただくために「団体登録書」を島田、谷所長に提出いたしました。すでに申請は受理され両ケアプラザを利用させていただいています。

(7)11/17(日)、第1回設立準備会(以下「準備会」)を鶴見中央で開催し、この時点で候補者は10人(女性:8人、男性:2人)になりました。

(8)11/23(金)、第2回準備会(於:かけはし都筑)をつづきクラブ本例会に参加する形で開催し、鈴木茂ワイズから「YMCAについて」

と題して卓話を受けました。(候補者6名参加。) 終了ご懇親会を兼ねた夕食会にも候補者4名が参加いただきました。

(9) 11/28 (水) 第3回E委員会兼第1回設立準備委員会を開催し、設立総会、認証状伝達式に向けた今後の予定および準備についての各委員の担当分担表を作成しました。

(10) 12/14(金)、第3回準備会を開催する予定(生麦)。候補者に対して、再度鈴木ワイズから「ワイズメンズクラブについて」の卓話および各クラブ代表から「それぞれのクラブ活動について」説明を受ける予定。これにてオエイエンターシェイ的な準備会は終了とし、次回からは「準備例会」とする。

(11) 2019年の予定は未定部分もありますが、概ね以下の通りです:

1/11 (金) 第1回準備例会(鶴見中央?)、2/8 (金) 第2回準備例会(鶴見中央?)、3/17 (日) 設立総会(鶴見中央?)、4/12 (金) 1月度仮例会(鶴見中央?)、5/10 (金) 2月度仮例会(鶴見中央?)、6/7 (金) 認証状伝達式(?)

(12)委員:

青木一弘(部担当主事)、今城高之(横浜つづき)、浦出昭吉(横浜とつか)、金子功(横浜)、古賀健一郎(横浜)、小松仲史(厚木)、千葉裕子(鎌倉)、辻 剛(横浜つづき)、宮里伸一郎(沖縄)、山田一男(金沢八景)、屋良政旦(沖縄那覇)、佐藤節子(厚木・オブザーバー)、加藤利榮(横浜とつか・オブザーバー)
以上ご報告いたしましたように「つるみクラブ」の誕生に向けて湘南・沖縄部全員で頑張りますので、部および横浜 YMCA の皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

以上

楽しい集い YMCA と共に

湘南・沖縄部 担当主事
青木 一弘(横浜)



様々な活動を通して諸先輩のワイズの方々との良い出会いが大変多く、楽しいワイズライフを過ごしている事を実感しております。

ワイズの目的の第1は、「奉仕活動を通じて

YMCA の活動を支援する」と謳われていますが、活動を行うにあたり、会員数の減少が昨今課題ともなっています。そのような中で、現在 YMCA で活動している青年達が、将来ワイズの会員として活躍してくれるように、YMCA との絆を強く

しておくことが必要ではないかと思えます。また、私達の活動内容を見直し、若者たちにとって魅力あるものにしていかなければならないとも感じています。そのためにも、私たち自身が活動を心から楽しみ、活力に満ちた生活をしたいものだと思います。YMCA に連なる多くの仲間とふれあい、豊かで楽しい時間・空間を共有すること。そのような湘南・沖縄部らしい活動を今年も継続していきたいものです。「楽しくなければワイズじゃない」をモットーに頑張りますので、今年度もご協力をお願いします。

あつという間の4か月

横浜クラブ 会長
古田和彦



7月、新年度から横浜クラブ会長をお引き受けしている古田和彦です。8月は、23日に厩の食卓での納涼例会を行い、今村ワイズなどによるハワイアン演奏、ポエポエクラブの皆さんのフラダンスと、おい

しいビールを飲みながらの楽しい会となりました。

9月は、例年2月に行っていたYMCAの専門学校とワイズが共催する日本語スピーチコンテストを5日に実施、参加YMCAも増え、会場も県民ホールに変更し200名ほどの学生を含む聴衆が集まり、盛大なコンテストとなりました。今回から、厚木ワイズと共催、多くの協賛企業もあって大成功でした。

10月は、8日にクラブ代表が熊本スピリットクラブを訪れ、将来のDBCを視野に交流を行いました。13日に第3回ワイズカップチャリティサッカー大会をつづきクラブと共催で行い、ちびっ子の元気な姿に触れ、元気をもらいました。20日には多くのワイズの皆さん共々チャリティランに参加、当クラブは受付を担当しました。諸行事が重なり、あつという間の4か月でした。

「那覇ワイズとゴーヤ一天ぷら〜」

沖縄那覇クラブ会長
玉城哲人

前年度に引き続き、今年度も那覇y'sの会長を務めることになりました玉城哲人と申します。前年度は、前会長の屋良さんをはじめy'sのメンバーに支えられて、どうにか沖縄YMCAの支援やボ

ランティア活動をすることが出来ました。今年度は、メンバーそれぞれの持ち味を活かし、活動の幅を広げることを目標に頑張っていく所存です。若い人達がy'sに参加しやすい環境づくりの一つとして、今年度より会費の金額を半分に抑えました。今まで、例会前に夕食会を開いてまいりました。食事は、会費の一部でy'sの料理長大森さんに夕食を作ってもらっていたのですが、経費削減のためとても残念ですが夕食会をやめることにしました。大森さんは、大変料理が上手で、毎回温かくておいしい沖縄の家庭料理を作ってくださいました。食いしん坊の私は、大森さんの手作り料理を毎回とても楽しみにしていました。沖縄にお越しの際は、是非大森さんの絶品料理ゴーヤー天ぷらをご賞味ください。

鎌倉クラブの活動



鎌倉クラブ会長
千葉 裕子

鎌倉クラブは、毎月いろいろな方に来ていただき、お話しを伺う卓話を中心に活動しています。

5月から、例会とは別に、

毎月1回、臨床検査技師の先生に来ていただき、[若さを保つメンテナンス体操教室]というのを始めました。

まだまだ参加者はすくないのですが、ワイズに限らず広く一般にも呼びかけ、鎌倉市と鎌倉YMCAの後援も頂いて、楽しくやっています。体の隅々まで分かっている先生ですので、一人一人の体の不具合に合わせた体操を教えてください、皆さん来た時と帰る時では、足取りが変わっています。一時間半位、体を動かして、軽やかになって、その後は、先生を中心に楽しいおしゃべりです！月1回ですので、翌月までは、各人自宅で復習！勤勉でない私には、これがなかなか難しいですが、道具も何もいらないので、仕事の行き帰りなど、電車やバスを待つ間等にやっています。

皆様も一緒に始めませんか？

毎月最終火曜日、18:30から、鎌倉駅前の生涯学習センターです。お待ちしております。

全員で全力投球中です —

横浜とつかクラブ会長
浦出昭吉

会長主題“今こそ会員増強目指して初心に帰ろう”をハシラに、今期発足して早や半年近く、で



も会長を仰せつかって3年目です。

すでにお気付きのように、ブリテンの‘社説’ともいふべき‘会長ひとこと’を7月号から‘会員ひと言’に改め、メネットを含む全会員による執筆で、すでに11月号まで5人の方が、その健筆ぶりを遺憾無く発揮されています。

特筆すべきは、21回を重ねた加藤ワイズ邸での鎌倉クラブとの合同納涼例会、今まで何人もの入会式を席上行っていますが、今回は岡進さんの再入会式を行い、俊英が仲間入りしました。

また、従来から支援継続中の‘子供用絵本点字図書館創設団体ユニリーブ’、‘ワークサポートセンター・パン工房アンジュ’のほか、今回、‘ワークサポートセンター・カフェレザン’を新たな支援対象に加えました。また、チャリテーランや湘南とつかYMCAのリーダーたちとの交流、‘ワイズ・バザー’への注力と、今期もやる気十分です。

平成最後の部がスタートしました

厚木クラブ会長
小松仲史



湘南沖縄部の新しい年度が金子功直前部長より引き継ぎ、佐藤節子部長のもとスタートして早数ヶ月経ちました。

我が厚木クラブより選出された事を誇りに思います。厚木クラブの多くは、佐藤節子さんのお声掛けから入会した方が多くいます。

私もその一人です。何よりも前進する力が凄く決して弱音を吐かない、まさに適任と思います。部の最大行事【部大会】もお会いするだけでも困難な佐治晴夫先生をお呼びし、人生の考え方が変わる素晴らしいお話を聞くことが出来ました。

そして辻剛エクステンション委員長による新クラブ準備も見事な運営であと一步の所まで来ています。厚木クラブも、部は違いますが町田の新クラブ設立に当たり初めての親クラブとして関わっています。

これからも皆様のお力を合わせて【部】の運営を盛り上げていけたらと思います。

金沢八景ワイズと共に



金沢八景クラブ会長
若林 諒

会長として出発し、はや晩秋、なかなか会長としての役割がぴったりきません。

誘われて受動的に入ったワイズメンズクラブにようやく慣れてきた段階で、会長として

云々かんぬんというところまでいっていない感じですが。

さしたる量ではなくとも弁護士の仕事は意外と手間暇がかかり、会長職を十分まっとうできない点をクラブ員の皆様にご容赦願っている実情です。

それでも、地域の方々にそれなりの福祉・楽しみを感じていただけているのかなあと思いつつ、ごちゃごちゃとやっております。

京浜急行金沢八景駅近くにあるYMCAの建物3階の1室を借りて月1回例会を行っております。

同じ金沢八景駅にシーサイドレーンが新しい金沢八景駅を建設中で、ここを中心に再開発という趣で、金沢八景ワイズも新たに発展してゆくものと思えます。

自主・自立、金沢八景ワイズにおいて、自分の頭で考え、自分で物事を決められるクラブを目指して、ゆるゆるとやっていけたらと思っております。

クラブライフは楽しい



横浜つづきクラブ会長
岡田勝美

横浜つづきクラブでは「第8回You&Iコンサート～あなたとわたし、障がい児・者とともに～」が成功裏に終わりました。誰もが楽しめるバリア

フリーのクラシックコンサートです。横浜YMCA、障がい児・者を支援する団体や他クラブの協力がありました。今回は地元ラジオFMで当クラブ2名と演奏者1名が出演しPRできました。地道なチラシ配り、ロコミ、地元メディアなどへの努力もありました。

10月の本例会はマイクロバスでの移動例会です。鎌倉～三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ施設見学～三崎港（夕食は三崎港でのマングロ三昧です。）

11月本例会はシンキングデイとしてYMCAをテーマに話し合います。

「YMCAを理解し、ワイズの信条を胸にこの一日を楽しく」の心境です。

今、沖縄で思うこと

沖縄ワイズメンズクラブ会長
宮里伸一郎

今期の始まりから振り返りますと、ひとつに次期 湘南・沖縄部 部長という大役を森田幸二郎ワイズに御承諾いただけるという発表がありました。

ワイズメンズクラブの今後 更なる発展と相互理解の広がりには御尽力いただけると期待申し上げます。

そして10月13日に開かれました京都ツアーピークラブ様との交流合同例会 懇親会で部について、部長の役目、主催クラブの役割など教えていただきました。経験のないことを考えれば不安にもなりますがこれも良い機会と捉え 時に先輩方へ相談し最善を尽くしたいと思えます。今の自分に出来ることは何か。今より良くなるためには何を変えるべきか。

少しずつでも行動してみよう。行動は正しかったか。常に自分に問いながら残された時間を進みたいと思えます。

これも良い機会と捉え 時に先輩方へ相談し最善を尽くしたいと思えます

誰もが入りたくなるワイズのために

監事 鈴木 茂（横浜つづき）



今年度も引続き湘南・沖縄部の監事を仰せつかりました横浜つづきクラブの鈴木 茂です。部監事の任務は、東日本区定款の規定から推測しますと、①部長による部内統制機能が

正常に機能しているか、②部の財政が公正に処理されているか、を点検・確認することを通して、ワイズに貢献することであると考えられます。

申すまでもなく、ワイズの運営はただ間違いがなければそれでよい、というものではありません。ワイズは、使命とする諸奉仕活動と会員相互の交流・親睦を通してこそ、楽しいクラブ作りと的確な内部統制機能が実現され、かつ誰もが入りたくなるようなワイズが生まれるものと思われます。私も監事として、誰もが入りたくなるようなワイズ作りのために、貢献できればと願っています。

2018～2019 年度湘南・沖縄部行事予定

月	強調月間	部行事	東日本区行事	横浜 YMCA
2018 7月	キックオフ YMCA サービス ASF RBM	各クラブ部長公式訪問 とつか7/7 鎌倉 7/10、横浜 7/12 金 沢八景 7/16 厚木 7/25、横 浜つづき 7/27 沖縄那覇・沖縄合同 20192/16～17 10 前期半年報各クラブ 部長提出 14 第1回部評議会 14 部報第1号原稿依頼 25 部長通信第1号発行	7 第1回区役員会 10 各クラブ前期半年報 部長提出 15 同 部長→会員増強 主任 提出	
8月	CS	3～5 第25回AIDSフォー ラム 15 部報第1号発行	8 アジア太平洋地域議 会 9～12 国際大会(韓国) 15 前期区費納入納期	3～5 AIDS フォーラム
9月	ユース	4 第82回Y-Y's協議会 15 湘南・沖縄部 部大会 (レンブラントホテル 厚木)	7～9 ユースボランティア ・ リーダーズフォーラ ム	4 第82回Y-Y's協議 会 5 日本語スピーチコンテ スト(県民小ホール) 22 会員スポーツデー
10月	EMC/E	20 第21回チャリティー ラン 15 部長通信第2号	27 次期部長・事業主任研 修会	20 第21回チャリティー ラン
11月	ワイズ理解 ファミリー ファースト	17 第2回評議会	10 第2回区役員会 10 ワイズデー	22～23 日本YMCA大会
12月	EMC/MC	4 第83回Y-Y's協議会	8 祈りの鐘	4 第83回Y-Y's協議 会 20 クリスマス礼拝
2019 1月	IBC/DBC	10 各クラブ後期半年報 部長提出 12 Y-Y's 合同新年会 31 次期部役員・クラブ会 長報告 次期部長→区	15 後期半年報部長提出 同 部長→会員増強主任 提出 31 後期区費請求書発送	12 Y-Y's 合同新年会 31 国際役員投票スイス 必着
2月	TOF	15 後期区費納入 15 各種献金納期(クラブ →部) 16-17 沖縄公式訪問	10 国際半年報 28 各種献金納期(部→ 区)	11 横浜YMCA 会員大会
3月	BF メネット	5 第84回Y-Y's協議会	8 代議員会告知 9～10 次期クラブ会長・ 部役員研修会	5 第84回Y-Y's協議会
4月	LT	20 第3回評議会	5 代議員会議案締切 6～7 第3回役員会現・次 期合同	
5月	EF/JEF		1 代議員会議案発送 15 JEF エントリー締切 31 第4回区役員会	26 横浜YMCA 会員総会
6月	評価	4 第85回Y-Y's協議会 15 第4回評議会 部報第2号発行	1 代議員会(東京) 1～2 第22回東日本区 大会(東京)	4 第85回Y-Y's協議 会 15～16 日本YMCA 同盟協 議会

2018－2019年度 湘南・沖縄部予算

収入の部

(単位:円)

科目		前年度実績	期初予算案	修正予算案	備考
部の経常的収入					
	東日本区補助金	157,500	152,500	130,600	100,000円 + @300円 x 会員数 (102名)
	部費	163,500	148,500	144,000	@1,500円 x 会員数 (96名、除く担当主事)
	部CS協力金	136,250	123,750	120,000	@1,250円 x 会員数 (96名、除く担当主事)
	小計	457,250	424,750	394,600	
その他の収入					
	雑収入	29,760	0	0	
	小計	29,760	0	0	
収入合計 (A)		487,010	424,750	394,600	前年実績に比べて92,410円、約19%減

支出の部

部の経常的支出					
	CS活動支援金	180,000	180,000	180,000	各クラブへの配分は評議会で決定
	小計	180,000	180,000	180,000	
YMCA支援金					
	横浜YMCA支援金	120,000	50,000	50,000	富士山Y建設募金、AIDS文化フォーラムなど
	沖縄YMCA支援金	30,000	30,000	30,000	
	小計	150,000	80,000	80,000	
部運営費					
	部長活動費	30,000	30,000	30,000	
	部行事費	7,270	20,000	15,000	部会、新年会等部主催行事のための費用
	区事業協力費	31,016	0	0	
	新企画運営費	0	20,000	5,000	フレッシュセミナーなど
	E委員会運営費	0	0	30,000	E (エクステンション) 委員会
	部報等印刷費	3,940	10,000	10,000	部報・部長通信等発行費
	事務通信費	1,506	5,000	5,000	
	会議費	4,190	5,000	5,000	
	小計	77,922	90,000	100,000	

その他の支出					
	予備費	0	50,000	30,000	
	雑損失	44,420	0	0	
	小計	44,420	50,000	30,000	
支出合計 (B)		452,342	400,000	390,000	

単年度収支と次年度への繰越金 (一般会計)

前年度繰越金	156,523	191,191	191,191
単年度収支 (A) - (B)	34,668	24,750	4,600
次年度繰越金	191,191	215,941	195,791

註) 2018年11月17日(土) 部評議会にて承認済

018~2019年度 湘南・沖縄部 会長、部役員名簿

部長 佐藤 節子 (厚木)

クラブ名	会長名		氏名	クラブ名
横浜	古田 和彦		金子 功	横浜
沖縄那覇	玉城 哲人		森田 幸二郎	沖縄
鎌倉	千葉 裕子		堀田 哲郎	厚木
横浜とつか	浦出 昭吉		伊藤 誠彦	横浜
厚木	小松 仲史	事業 主 査	山田 一男	金沢八景
金沢八景	若林 諒		古賀 健一郎	横浜
横浜つづき	岡田 勝美		今城 宏子	横浜つづき
沖縄	宮里 伸一郎		若木 一美	横浜とつか
			辻 剛	横浜つづき
		エクステンション 委員会 委員長		
		監事	鈴木 茂	横浜つづき

編集後記

皆様に無理なお願いをして原稿を頂き、おかげさまで部報1号を発行することができました。

内容については推敲を重ねたつもりではありますが誤植等あるかもしれません。書記の責任でございますのでご指摘いただけたら幸いです。重大な間違いについては文章で訂正を出させていただきます。

湘南・沖縄部の現状については部長の文章の通りですが、会員数の暫少についてはいろいろな事情があるとは言え、ほかの部とともに直面する問題です。若い方たちに魅力を感じてもらえるような光ある活動を展開し、外部アピールを続けることが必要と思われます。そして内部にとどまらず、自治組織や外部の関連団体との提携の模索していかねばなりません。

ワイズ活動が日本に大阪YMCAの主事・奈良伝氏によって紹介され、1928年に最初のクラブである大阪クラブが設立されました。90年の歴史の中で様々な奉仕活動を実施してきた訳ですが、今を懸命に生きることが大事ではないかと思えます。

(湘南・沖縄部 部書記 堀田哲郎)